

コロナ療養施設を提供

無症状&濃厚接触 第8波に備え

末広運輸サービス

【秋田】末広運輸サービス（佐藤広徳社長、秋田県大仙市）は、新型コロナウイルス対策の一環として、大仙市内にワンルーム（部屋）を借り受け、無症状の陽性者の自宅療養や濃厚接触者の自宅待機の場所として提供している。

業界は慢性的なドライバー不足が続いており、同社も人員体制に余裕のない状態で事業を継続している。こうした中、「第8波」とも言われる新型コロナウイルスの流行により、勤務ができないドライバーも増えそうだ。特に無症状で自宅療養の陽性者や同居家族の感染などに

よる濃厚接触者は自宅待機が求められる。いずれも数日間の隔離期間が生じるが、待機場所の確保が困難なケースも出てくる。

そこで、会社として隔離が必要なドライバーのために、大仙市内のマンションの一室（3LDK）を10月から借り受けた。椅子、テー

佐藤社長は「ドライバーには一日も早く、職場に復帰してもらいたい。感染防止対策を万全にするほか、万が一のために隔離施設があれば、家族も含めて安心して働ける。福利厚生を充実させ、働きやすい職場環境をつくりたい」と話している。（黒田秀男）